

ティロサウルス全身骨格の設置について

1 経緯

常設展示リニューアルにおいて、2階「生命の歴史」ゾーンの一翼を担う中生代の「海の爬虫類」展示エリアの充実を図るため、ティロサウルスを設置する。

中生代の海にはさまざまな海生爬虫類がひしめき、ティロサウルスが属するモササウルス類は、クビナガリュウや魚竜と並ぶ「海の恐竜*」の代表格である。ティロサウルスは全長13メートルの巨体であることから、見た目の迫力は言うまでもなく、それに加えて、映画「ジュラシックワールド」のワンシーンでもよく知られ、子どもにも大人気である。

展示の演出上、新生代の巨大クジラであるバシロサウルスと対をなし、とくに3階から見際の鮮烈な印象が期待できる。

なお、このティロサウルスの標本は、当館の令和3年度特別展「海竜～恐竜時代の海の猛者たち～」において展示し、好評を博したものです。

*海生爬虫類は、恐竜図鑑などでは恐竜と一緒に扱われがちで、そのせいか巷でも「海の恐竜」と勘違いされることが多いが、学術的には誤りであり、恐竜ではなく「恐竜時代に生きていた海の爬虫類」が正しい。

2 ティロサウルスについて

- | | |
|----------|--|
| (1) 学名 | <i>Tylosaurus proriger</i> ティロサウルス・プロリゲル |
| (2) 分類 | 有鱗目 モササウルス科 ティロサウルス亜科 |
| (3) 時代 | 後期白亜紀 (約7000万年前) |
| (4) 全長 | 13 m |
| (5) 発見場所 | アメリカ カンザス州 |

3 その他

ティロサウルスの設置に加えて、新たに生体復原画を標本類の背景に壁画として設置し、より生き生きとした白亜紀の海中風景をイメージしつつ展示を楽しめるようにする。